

地域学科 国際地域文化コース 募集予定 4人



留学で気付いた「日本のことを知らない自分」

出身高校は長期海外留学が必修科目で、高2の時8カ月間イギリスへ留学。でも、現地の学生たちに「日本の歴史や文化を教えて」と言われても、何も説明できなくて。これでいいのかと問題意識を感じ、地域の歴史・文化のことが学べるこのコースを、AO一本に絞って目指すことに。志願票には「KOA(コア)学」という探究型プログラムに取り組んだ経験を書こうと思い、その中でどんな疑問を感じ、どんな成果を得たのか、またそれを鳥大での学びにどう生かすのか、分析することから始めました。志願票は罫線のない白紙の用紙だったので、まずは読みやすい文字サイズを設定し、文字数を算出。パソコンで作成した文章を、手書きで丁寧に清書しました。

時事ニュースをチェックして知識を広げておこう！

2次選考で一番力を入れたのは、自己表現。KOA学についてプレゼン形式で発表しようと考え、作成したものをまずは友達に見てもらいました。すると、「取り組んだ内容をただ羅列しているだけ」と厳しいダメ出しが。おかげで内容をブラッシュアップできました。グループディスカッションや課題論文に役立てるため、積極的に新聞・TVニュース等をチェック。ただ情報を頭に入れるだけでなく、気になる問題は同級生と討論も。最後の個人面接では、1次よりも突っ込んだ質問が飛んできてドキドキ。分からないことは分からないと正直に答え、「ここは掘り下げて話せる」と思ったら、論点をまとめつつできるだけ詳しく話すのがポイントですね。

4年

しらいわ みきや

白岩 樹弥さん (京都学園高等学校[京都府]出身)

MY FAVORITE "TOTTORI"

日本海の新鮮旬魚がサイコー！

日本海に面した鳥取は、海の幸が新鮮で抜群に美味しい。鳥大から程近い「鳥取港」の鮮魚市場で食べられる、トレピチの海鮮がてんこ盛りの丼や刺身定食が大好きです！

全文は Webで！



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2021年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2022年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があり、他者の話によく耳を傾けて理解しようとする姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらを分かり易く表現する力を求めます。

課題論文

日本の「共同体」の特質や、都市コミュニティの生成について論じた文章(A4版で3枚)を読み、90分で設問(2問)に解答するものでした。設問の内容は、筆者の主張の要約(200字以内)、および日本的「共同体」やコミュニティの有りようについて、文化的観点を踏まえながら受験生の考えを論述するもの(800字以内)でした。

個人面接

3名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。実施を見送ったグループディスカッションを補う措置として、外国人労働者の受け入れに関する新聞記事を用意し、課題論文のテーマを深めるための質問も行いました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性	思考の柔軟性
2次(課題論文)	○	○	○		○	
2次(面接)	○	○	○	○	○	○